

越谷市議会議員

おぐち

小口たかひろ



プロフィール

昭和47年新潟県十日町市生まれ 長女の障がいきっかけに建設業から福祉の道へ
その後、令和5年4月に越谷市議会議員に初当選
介護福祉士 1級建築施工管理技士 2級土木施工管理技士 運行管理者(旅客)など

TEL:090-8566-0726
Mail:oguchitakahiro.mail@gmail.com
HP:https://www.chiisanakuchi.info/



まぶしい木々の青さから、力強い生命力を感じる季節となりました。
皆様におかれましては健康にお変わりなくお過ごしでしょうか。昨年の統一地方選挙にて初当選させていただきまして、はや1年が経ちました。私、小口たかひろも皆様からのご支援に支えられ、お陰様で元気に活動させていただいております。

『自分らしく生きられるまち』を柱とし、「ケアする人 ケアされる人 心が通い合う越谷市を目指して」という思いを胸に活動をしてまいりました今までの市政活動報告です。

今後とも、小口たかひろにご理解とご支援を賜りますよう、どうぞ宜しくお願いいたします。

小口たかひろ

民生常任委員会

○民生費・地域生活支援拠点事業について

【質疑】障がい者の重度化・高齢化や親亡き後をどのように見据えて、地域生活支援拠点事業を行っていくのか？

【答弁】保護者である親の不安を解消するために、「親亡き後」になる前から、障がいのある方の自立する能力をできる限り高めて行くといった早期からの計画的な取り組みや、体験が必要だと考えている。親と同居している場合は、ショートステイやグループホームなど、親以外の第三者の支援を受けながら生活をする環境に慣れたり、後見人を付けることなどが考えられ、「親亡き後」も、それまでと変わらず地域の中で幸せに安心して生活できるように取り組んで行く。

○民生費・障がい者計画策定事業について

【質疑】障がい者計画の策定段階からの当事者の参画や、障がい当事者自身が意思を言葉や文字ではなく、独自の表現で伝えた場合、ニーズや意思決定などをどのように吸い上げて計画に反映して行くのか？

【答弁】令和6年度は、障害福祉施策への課題やニーズ等を把握するため、障がい当事者へのアンケート調査や障害福祉関係団体のヒアリング調査を実施し、計画案がまとまった段階でパブリックコメントを実施し広く意見を伺って行く。また、アンケート調査などに本人ができない場合は、家族や介助者のサポート、本人の立場に沿っての回答をお願いし、様々な意見や意思、ニーズを計画に反映して行く。

○民生費・介護保険事業・包括的支援事業について

【質疑】地域包括支援センターを中心として、高齢者がより安心した地域生活を送れるための更なる寄り添う相談支援体制をどのように築き、どのような地域を目指して行くのか？

【答弁】高齢者にこれまで以上に分かりやすく、寄り添った相談対応ができるように専門職を増員し、相談支援体制の強化を図るとともに、地域包括支援ネットワークを構築し、適切な支援につながりすることで、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく安心して生活できる地域づくり、地域包括ケアシステムの実現を目指して行く。

◎病院事業会計「令和6年度越谷市病院事業会計予算について」

【質疑】収支など金額の面では数値化により見ることができるとは思いますが、心に抱く満足度などは患者やご家族が皆それぞれ違い、命に関わることもあり医療や福祉の面では一概に見てわかるように数値化をすることは難しいと考えるがその点については？

【答弁】患者の満足度については数値化、見える化が難しい部分ではあるが、サービス向上委員会を組織し、年に1回外来患者、入院患者の満足度調査を実施し、満足度をできる限り把握するように努め、ニーズを病院運営に反映させると共に院内の課題として、委員や職員と共有して行きたいと考えている。

『 KUMA Café in 越谷市 』

参議院議員 くまがい裕人 とざっくばらんにおしゃべりしませんか？
越谷市議会議員 小口たかひろ も参加します！
日時：令和6年6月1日(土) 13時30分開場予定
場所：越谷市 桜井地区センター・公民館「あすばる」学習室 A(2階)
参加費：無料



お申し込み・不要
お問い合わせ・質問は 小口たかひろ まで
電話：090-8566-0726
メール：oguchitakahiro.mail@gmail.com

イベント
告知



※越谷市議会 HP より

議会中継の録画がご覧いただけます。

令和5年6月定例会(6月15日)

1. 災害時の要援護者への取組について

【質問】 災害時に障がい者や高齢者などの要援護者が安全に避難するための枠組みとして、「越谷市災害時要援護者避難支援制度」があるが現在の取組状況と、要援護者を守る対策としての今後の「個別避難計画」作成への取組は？

【答弁】 「災害時要援護者避難支援制度」は周知啓発を行い、案内・申請も行っており、要援護者と賛同いただいている地域の方との相互の認識確認に努めているところで、今後についても庁内関係課との連携を強化して、制度の見直しを行い、より実効性の高い支援体制を整備していく。「個別避難計画」の作成に当たっては、真に避難を要する方を正確に把握し、優先度が高い方から計画を作成していく内閣府の方針が示されていることから、支援を踏まえた計画作成をさらに推進していく。

2. 障害福祉サービス等従事者の現状と

【質問】 障がい者の親亡き後や介護者の入院といった際に、障害福祉サービス事業所の支えも必要であるが、人材不足が課題の中、従事者確保への市の今後の対応は？

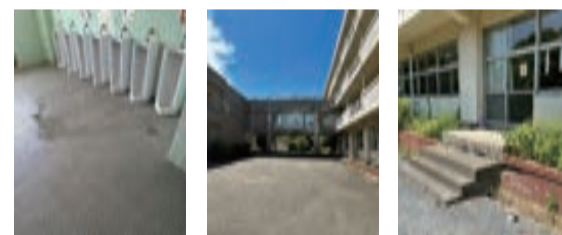
【答弁】 障害福祉サービス従事者や有資格者の状況を把握し、国の報酬改定の動向を注視し、事業所が必要な加算を受けられるよう相談等に対応していく。また、人材確保は本市としてどのような取組が出来るのか、他団体の取組等も調査研究していく。

9月定例会(9月7日)

1. 小中学校における環境整備について

【質問】 小中学校の老朽化による外壁タイルの剥離や損傷しているコンクリート階段等、修繕が必要な校舎の安全性の確保は？

【答弁】 学校の現状を確認し、点検等により、安全上の問題や不具合がある箇所については、必要に応じて応急処置を行い、一定規模以上の場合には予算を確保し、改修工事を行うなど、全てには対応できてはいないが、優先順位を設けて順次改修等を行い、危険箇所などの対応に努めていく。



『老朽化した校舎』

12月定例会(12月12日)

1. 重症心身障がい児、医療的ケア児の介護負担軽減について

【質問】 従来の自宅での短時間の利用に限られる訪問看護をより長く、また外でも利用できる福祉サービスが市外で行われていることや、ショートステイなどの在宅福祉サービスの充実を踏まえた中、市での今後の重症心身障がい児、医療的ケア児を介護するケアラーへの在宅レスパイトサービスの考えは？

【答弁】 家族のレスパイトを目的とした居宅介護や日中一時支援事業などの事業を継続しながら、重症心身障がい児、医療的ケア児を介護する方々へのさらなる支援を検討する中、在宅レスパイトサービスについても、先進自治体の動向などを注視しつつ、調査研究していく。

2. 小中学校での交通安全教育について

【質問】 タブレット端末や、効果的なデジタル教材を使用した交通安全教育への取組は？

【答弁】 道路標識の調べ学習等や交通指導員の指導をタブレット端末で撮影し、振り返り学習をしている学校もあるが、教育委員会としても、自分の命は自分で守る意識の下、児童生徒が自ら危険を予測し、回避する能力がみにつけるようタブレット端末等を積極的、効果的な活用について、校長会や教頭会等様々な機会でも周知していく。



『交通カルタを用いた学習』